

4. 子宮頸癌放射線治療後の骨密度, エストラジオール値の変化について

齋藤 淳一, 鈴木 義行, 大野 達也
野田 真永, 若月 優, 小此木範之
大久保 悠, 牛島 弘毅, 中野 隆史
(群馬大院・医・腫瘍放射線学)

【目的】 子宮頸癌放射線治療後の骨密度, エストラジオール値の変化を前向きに調査した. 【対象・方法】 2009年～2010年に当院で根治的放射線治療が施行された子宮頸癌症例 30例を対象とした. 年齢は 34～83歳 (中央値 65歳) であった. 外照射は 10MV X線を用い, 原則として総線量 50Gy (20～30Gy以降は中央遮蔽) を投与した. 治療前, 治療開始後 3か月, 1年の時点で骨密度, エストラジオール値の変化を測定した. 【結果】 治療後 1年まで経過観察が施行された 15例のうち 12例で照射野内腰椎 (L5) の骨密度減少が認められた. 骨密度が減少した症例における骨密度値の変化の幅は $-0.02 \sim -0.62\text{g/cm}^2$ (中央値 -0.09g/cm^2) であった. 骨密度増加を示した 3例のうち 1例では測定部位の腰椎の骨折が確認された. 照射野外腰椎の骨密度の変化の幅については, $-0.11 \sim 0.15\text{g/cm}^2$ (中央値 -0.02g/cm^2) であった. またエストラジオール値は, 治療後 1年時点で 15例中 14例において測定下限以下の値を示していた. 【結語】 子宮頸癌放射線治療後の骨密度, エストラジオール値の変化は治療後 1年以内の比較的早期に出現する可能性が示唆された.

5. 前立腺癌に対する IMRT の初期報告

工藤 滋弘, 岡本 雅彦, 玉木 義雄
樋口 啓子, 佐藤 浩央
(群馬県立がんセンター 放射線科)

【背景】 当院では 2009年 3月に前立腺癌に対する IMRT を開始し, 55例の照射を終了した. これまでに行った治療, 有害事象について報告する. 【対象】 対象は前立腺癌の患者 55例, 年齢中央値 73歳 (61～80歳), 症例は新鮮例, 長期ホルモン単独治療例を含んでいる. TNM (第 7版) の T 分類は T1/2/3/4, 23/14/16/1, グリソンスコア 6/7/8/9/10, 10/18/13/10/3 PSA 中央値: 19ng/ml ($4.2 \sim 334.9\text{ng/ml}$) であった. 治療方法は 5門あるいは 7門照射とし, 線量は PTV-直腸を Target として D95 処方とし, TD64.4Gy/23fr (2.8Gy/fr) で行っている. また, 照射日程は週 3回 (月, 水, 金曜日) である. 【結果】 急性期有害事象はこれまでに Grade 2 (数回の血便) を 3例に認め, いずれも治療後 7か月であった. Grade 3 (内視鏡的治療を行った) の排尿障害を 2例に認めた. 【まとめ】 これまでに行った前立腺癌に対する IMRT の現状を報告する.

〈セッション II〉

座長: 登丸真由美 (群馬大医・附属病院・北 6 階病棟)

6. 中咽頭部癌に対して放射線治療を行った事例における看護援助の振り返り

秋山 朋美, 加藤 康子, 登丸真由美
井上エリ子

(群馬大医・附属病院・北 6 階病棟)

【目的】 頭頸部癌に対する放射線治療によって生じる口腔トラブルは必発であり, 患者の食生活における QOL を低下させている. そこで, 中咽頭部癌に対して放射線治療を施行した一事例において, 有害事象による症状の変化や看護援助が効果的であったかどうかなどの視点から振り返る. 【方法】 中咽頭部癌に対して放射線治療を施行した患者 1名の診療録からデータを収集し, 分析を行った. 【結果】 放射線治療により口腔トラブルが生じたが, 口腔ケアを継続して行うことで症状を最小限に抑えることができ, 長期にわたって食事摂取量が大きく低下することはなかった. 【結語】 症状を最小限に抑え食生活における QOL の低下を防ぐことができ, 効果的な援助であったと考えられる.

7. マンマウェアの使用経験調査

杉村 和紀, 吉田恵理子, 保坂 勝仁
佐藤 正康, 中嶋 剛, 島田 巧

(埼玉医大・総合医療センター・

放射線治療部)

【目的】 マンマウェアを導入したことにより患者様の使用後の感想及び意見をアンケート調査する. 【方法】 乳房照射患者及び胸部照射を行う女性患者を対象に着心地について, 実際にあつてよかったか, 価格について, 要望といったアンケート項目について質問及び感想を述べて頂いた. 【結果】 着心地が良いと答えた方は全体の 72%を占め実際にあつてよかったと思う方は 55%だった. また, 価格については妥当と答えた方は 60%だった. 反面高価と答えた方は 33%だった. 今回の調査により実際にマンマウェアを導入することにより約半数以上の方々に喜ばれ使用して頂いている事がわかった. 今後も患者様に引き続き推奨してゆき, 要望に関しても検討して行きたい.